

# 口永良部（くちえらぶ）漁港（鹿児島県屋久島町）（第4種）

## ■地区の概要

主な魚種：ぶり類、えび類

本漁港は、屋久島の北西にある火山島・口永良部島に位置し、地元ではイセエビ漁や磯立て網漁等の沿岸漁業が行われるほか、周辺海域は黒潮の影響で県内外のまき網漁船の好漁場となっていることから、台風期の避難拠点として県内外の漁船に広く利用されている。

口永良部島の新岳は、全国に111ある活火山の一つであり、火山噴火予知連絡会によって「火山防災のために監視・観測体制の充実等が必要な50火山」に選定されている。平成27年には新岳の噴火により、屋久島への全島避難を余儀なくされるなど、噴火活動が継続している。

## ■事業の目的

本漁港の防波堤は港内静穏度を確保するとともに、定期船の接岸岸壁を兼ねているが、耐波性能が確保されていない。

また、南海トラフ地震防災対策推進地域内にあるとともに、鹿児島県地域防災計画で最大震度6弱のトカラ列島太平洋沖地震が想定されているが、-2.0m物揚場は耐津波性能が確保されておらず、漁港施設の被災により、漁業活動のほか、定期船による人・物資の輸送に支障が生じ、島民の生活や外来船の利用に大打撃が生じる。

よって、防波堤や係留施設の耐震・耐津波性能を確保するための整備を行う。



平成18年台風13号

## 事業内容:

### ■主な事業量

防波堤(改良)、-2.0m物揚場(改良)

■事業期間: R1~R10

■事業主体: 鹿児島県